

COVID-19 における喫煙者のブリンクスマン指数の重要性

◎大西秀典¹⁾、山村修¹⁾
福井大学医学部地域医療推進講座¹⁾

【目的】

喫煙は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の進行の危険因子の1つであり，非喫煙者に比べてCOVID-19の進行の確率が高いとされている．今回，福井県内で確認されたCOVID-19の喫煙者における重症化の予測因子を探索したので報告する．

【方法】

対象は2021年7月20日から2021年11月09日までに福井県で確認されたCOVID-19の喫煙者341名(男性74.8%，平均年齢37.6歳)とした．投薬はレムデシビル，デキサメタゾン，ロナプリーブ，アビガン，バリシチニブのいずれかが投与されているものを“あり”とした．特に，喫煙による人体への影響を予測する指標の一つであるブリンクスマン指数(BI)に着目して投薬群の関係性を検討した．

BIは200以上で禁煙外来において保険適応．400以上で肺がんのリスクが上昇するとされている．本研究は，福井県の許可を得て，福井県COVID-19調査の既存情報から患者背景等について統計手法を用いて後方視的に解析した．ま

た，福井大学医学系倫理審査委員会(20210141)の承認を得て実施した．

【結果】

投薬群は74名(男性74.3%，平均年齢46.2歳)，未投薬群は267名(男性74.9%，平均年齢35.3歳)であった．投薬群は，未投薬群より年齢，BI，BMI，基礎疾患(心疾患，糖尿病等)が有意に高値であった．未投薬群のBIは 233.6 ± 241.1 で，投薬群は 415.2 ± 329.1 と有意に高値であった($p < 0.0001$)．喫煙者における重症化を予測因子はBI 400以上 (OR 2.90, 95%CI 1.410-2.790, $p = 0.0038$) であった．

【結語】

COVID-19の喫煙者においてBIの把握は，COVID-19の重症化を早期に判断する指標となる可能性を示唆する．

(共同研究施設：福井大学医学部附属病院感染制御部，福井大学医学部感染症学講座，福井県健康福祉部保健予防課)